メンバー紹介！

芥川倶楽部　大矢正彦さん

「当世　鮎事情」

私が鮎と出会ったのは今から30年程前のこと。子どもの頃、よく芥川で遊んだ。趣味の鮎釣りも芥川から始まった。

芥川の出灰でも鮎を放流しており、そこで初めて友釣りを体験。当時は水量も結構あり水も綺麗で自然豊かな川。釣り客もそういないことから、初心者でも教えてもらうと友釣りの醍醐味が味わえた時代。以降、友釣りにはまり、下手の横好きながらシーズンになると各地の川で一生懸命鮎釣りにはまって来た。

鮎は餌が豊富な川の瀬に縄張りを持ち、そこに友鮎を放すと瀬に付いていた鮎がガッーンと掛かり、その瞬間竿が大きく弧を描きなんともいえない醍醐味。最近、鮎釣りは年に1、2回程度になったが、その理由は、第1に釣りブームで釣り人が増えたこと。第2に夏場は渇水続きで水質が悪化しスイカの香りの鮎がいなくなったこと。そして第3は鮎が瀬に殆どいなくなったこと。先に釣られたのか、いや、それだけではない。最近の鮎は緩やかな流れや淵の深場で遊泳しているのが殆ど。どうも稚鮎が養殖らしく闘争心にかけるのがやたらと多い。と下手が負け惜しみでいっているのかもしれない。上手な人の釣りは竿を立て、友鮎を自由に泳がせてジャレて来た鮎が引っ掛かかるという具合。で、最近は坊主も度々、もっともそんなにせこせこ釣る気もないので5、6匹もつれたらその日のおかずに最高という訳で、鮎釣りの魅力も半減している今日この頃です。

芥川倶楽部行事予定

参加無料！

●ミズヒマワリ駆除作戦！

恒例のミズヒマワリ駆除作戦。まだまだ継続中！

集合：2月11日(祝)　10:00　あくあぴあ芥川
　　3月20日(祝)　10:00　芥川緑地テニスコート前
解散：12:00頃
持ち物：汚れてもいい服装、長靴、防水手袋
※4月以降の日程は未定です。
　ホームページでご確認ください。

●芥川･水辺のクリーンアップ大作戦 (仮称)

毎年恒例になりました芥川の一斉清掃を、今年も実施します。

日時：3月29日(日)　10:00～12:00
持ち物：汚れてもいい服装、長靴、軍手等
※清掃場所等は、3月上旬にホームページに掲載予定

●こいのぼりフェスタ１０００

今年もこいのぼりフェスタに参加します！

日時：4月29日(祝)

★イベントの告知や詳細、延期等の最新情報は、下記ホームページでご紹介していますので、ご参照ください。

URL ：
http://www.akutagawa-club.net/index.html

サポーター募集中！

芥川倶楽部では、川づくりや各種イベントに一緒に参加してくださる「サポーター」を募集しています！ぜひ下記までご連絡下さい。イベント等のご案内を差し上げます。

【連絡先】 e-mail ： ayu@akutagawa-club.net

TEL&FAX ： 072 (685) 3503

芥川の生き物たちその3　オイカワ

あくあぴあ芥川　高田みちよ

オイカワは川の中流部ではもっともありふれた魚です。そのため沢山の名前を持っています。オイカワという名は琵琶湖での繁殖期のオスの呼び名で、大阪ではハス、ハエなどと呼ばれます。ハスという別の魚がいますが、こちらはケタバスといって区別しているようです。関東ではヤマベやハヤなどとも呼ばれます。繁殖期のオスは尻ビレが大きく広がり、オレンジと緑色がかった青との美しい色になります。芥川でもメスをめぐるオス同士の争いが見られる春から夏には、浅瀬でキラキラと光るのが見られます。

自然な川には必ず瀬と淵があります。瀬は浅くて流れの早いところ、淵は深くて流れの遅いところです。オイカワは瀬を好む魚です。最近の河川改修では川底を浅く平坦にするため、瀬に似た環境が広がります。そのためオイカワの生息範囲も広がり、都市河川ではもっとも多く見られる種になっています。瀬に住む魚だけに、酸素が少なくなるとすぐに死んでしまうので、特に夏には、持ち帰るまでに死んでしまった経験をお持ちの方もいるのでは？　また、非常に遊泳力、ジャンプ力があり、水槽から飛出してしまったり、水槽のガラスに鼻先をぶつけたりと、健康に飼うのは非常に難しい魚ですので、捕っても持ち帰らず、なるべく自然の中で観察してあげてください。

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

芥川水辺だより

正恩寺橋上流側

Vol.3
2008年
冬号

歩いて知ろうよ、芥川
～みんなで遊歩道をつくっていこう！～

将来、「淀川から摂津峡まで川沿いを歩ける道ができるといいな♪」という思いのもと、11月29日、芥川倶楽部主催でリバーウオークイベントを開催しました。 淀川を臨む三箇牧から芥川合流部を経て芥川を遡り、JR鉄橋までの約5.5kmを歩きました。100人を目標に参加を呼びかけた結果、120人の参加があり、天候にも恵まれ最高のイベントとなりました。　（次ページにつづく）

淀川の堤防から広い高水敷を一望！

国土交通省
日朝氏から、芥川大堰に魚みちを計画中だという話を聞きました。
楽しみですね♪

発行者：NPO法人芥川倶楽部　〒569-0805　高槻市上田辺町１－１８　　TEL　072（685）3503
ホームページ　http://www.akutagawa-club.net/index.html
2009年1月30日発行
企画・編集／高田みちよ、山崎文男

活動記録

歩いて知ろうよ、芥川　～みんなで遊歩道つくっていこう！～

11月29日(土)　　（前ページのつづき）

三箇牧公民館をスタートし、まずは三島鴨神社の紹介。この神社は、淀川が暴れないように祀られたもので、元々淀川の中州にありましたが、淀川の築堤工事(1598年)で現在の場所に移されました。次に目にするのは淀川の広い河川敷。そして築堤の記念碑。淀川は大正時代に大きく決壊し、堤防を築くために上流から土砂を土汽車で運んでいたことがあります。芝生の芥川大橋付近では、「番田井路」がポイント。芥川、淀川、檜尾川はいずれも天井川で、三川に囲まれた地区は水面よりも低いため、ここに溜まった水を排出するために掘られた人工河川です。芥川の下をトンネルで通り抜け、最終的には神崎川に合流します。この仕組みは何と1600年代に作られ、当時は「番田大樋」と呼ばれ木製だったそうです。芥川大橋の落差工では国の方から、自然再生工事中の津之江公園では高槻市の方から説明いただきました。最後にJR鉄橋下流の落差工に設置された魚みちを見学し、ゴール。

災害非常食とお味噌汁を食べて、投網の実演やクイズの景品プレゼントで盛り上がり、「楽しかった」という感想をたくさんいただきました。肝心の川沿いの道については、やはり歩きにくい場所があったり、車通りが多かったりと、気になる箇所がいくつかあり、川・道づくりの参考となるアンケート結果を頂きました。今後は楽しく川辺を歩いてもらえる道づくりにも、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

淀川の築堤記念碑

番田大樋の記念碑

ゴール地点で投網の実演と魚の説明

マガモのペアにも会えました

芥川「水辺の学校」　～川西小の皆さんと芥川リバーウォーク～

12月12日(金)

川西小学校5年生の皆さんと芥川大橋から桜堤公園までの約3㎞を川沿いを歩きました。12月とは思えない陽気で、たくさんの野鳥も観察でき、少しは学習のお役に立てたのではないか…と思います。

芥川倶楽部からは「自然や生き物」について、大阪府（茨木土木）からは「川づくり」について主にお話しました。芥川大橋では「洪水を防ぐ工夫」として、落差工やスーパー堤防の意義について説明。 最近は授業でも習うそうです。津之江公園は自然再生工事中。今は土壌がムキ出しですが数年後には豊かな自然が再生し、今日の景色との差を感じて欲しいですね。JR鉄橋下流では、落差工など人工構造物も必要だけど、魚みちやみお筋を作ることで、人にも生き物にもやさしい川づくりに挑戦していることを説明しました。桜堤公園付近の水位計前では、ここの情報を元に携帯やパソコンで防災情報の提供をしていることを知ってもらいました。いつも穏やかな芥川でも油断大敵。情報を活かして、川に親しんでもらいたいですね。

この日はマガモに始まり、コサギ、ダイサギなど、全部で18種類の野鳥に出会いました。写真には収められませんでしたが、運よく！カワセミも見ることができ、子どもたちもその美しさに大歓声をあげて喜んでくれました。

皆さん大変元気よく、最後には気持ちのよい感謝の言葉ももらいました。 途中、ミズヒマワリやヌートリアなど「特定外来生物」について質問したときには、とても詳しく知ってる子たちもいて関心しきり。これからも、芥川に限らず高槻のことを、もっと好きになって欲しいですね。また何かの機会にお会いしましょう。

芥川大橋にて

コガモに会いました

ＪＲ鉄橋下流の魚みち

桜堤公園付近の水位計前

ミズヒマワリ駆除作戦！

11月23日(日)、12月20日(土)、1月12日（月･祝）

ミズヒマワリは中央アメリカ原産の外来種です。大阪府では芥川とそれに続く淀川にしか生育していないので、今駆除すれば撲滅できるのでは、との思いから、駆除作業を行っています。
道のりは遠いですが、これからも頑張っていきましょう！

今季の駆除作業の始動です。ミズヒマワリの繁殖勢力が弱まるこの時期に駆除作業を実施すると効率が上がるため、今年度から、11月～翌年3月頃まで期間に駆除作業を行って行くこととしました。3日とも天候も良く、11月23日は西之川原橋上流とトンボ池で約45名、12月20日は西之川原橋下流で33名、1月12日は24名がご協力くださいました。大阪府（茨木土木）、高槻市、たかつき環境市民会議、高槻グリーンライオンズクラブ、パナソニック松愛会をはじめ、地域のみなさんが中心です。12月20日には関西大学のボランティアセンターの職員2名と学生5名の参加がありました。学生さんたちは初めての胴長を履いて、結構楽しんでくださったようです。こちらも若い人たちのパワーのおかげでいつもよりも楽しく作業できました。今後も継続的にご協力いただけるとのこと。心強い応援団ができました。回を重ねるたびに参加者が増え、芥川倶楽部の川づくり活動の輪が着実に広がるのを感じています。

今季からは、大阪府（茨木土木）と高槻市（公園施設課）の協力で、河川敷からの荷揚げに初めてユニックを使用し、重作業の軽減を図りました。いつもは堤防上に持ち上げるのが大変でしたが、今回はとても楽チンでした。参加人数が多く、重機もあったので、いつもより沢山駆除できました。11月23日はパッカー車2台分で約3ｔ、12月20日は土のう袋150袋で約1.5ｔ、1月12日は土のう袋120袋で約1tのミズヒマワリを駆除することができました。

11/23

川の中に生えたミズヒマワリを抜きます

ユニックで堤防に持ち上げます

12/20

関大の学生さんたちが頑張ってくれました

土のう袋１５０個分
約1.5ｔ

カヤネズミの巣を拾いました。開けてびっくり、子ネズミが！

全国カヤネズミ・ネットワーク

1/12

陸上ではこんなに長く成長しています

１２０袋駆除しました

カヤネズミは鳥獣保護法で保護されています。今回は巣が落ちて水浸しになったため、緊急事態として保護し、大阪府に登録された傷病鳥獣保護ボランティアによって野生復帰にむけて飼育されています。通常は捕獲には許可が必要です。一般の飼育は認められていません。カヤネズミに関する詳しい情報は全国カヤネズミ・ネットワーク（http://www.kayanet-japan.com/）をご覧下さい。

NEWS　ひとと魚にやさしい川づくりが進んでいます！

学識者を交えて検討してきた魚みち、津之江公園の自然再生が本格化してきました。魚みちは大阪府（茨木土木）が主体となって、芥川の落差工のうち、西之川原橋下流、JR橋梁下流の落差工の魚みちは現在実験中です。今年度は桜堤公園の落差工に着手します。

津之江公園の自然再生は現在工事中で、詳しくは高槻市のホームページをご覧下さい。（http://www.city.takatsuki.osaka.jp/db/toshiseibi/db4-koen.html#koen8）

将来イメージ